

長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第23号
(令和元年10月)

文責 西澤 庄藏

家庭学習について再考しました。第2弾です。

電子メディアの使用時間を15分減らし、勉強時間を15分増やそう。 (オンラインのもの)

日々、校内を巡回すると、意欲的な学びが教室にあふれています。ただ、スマホ、タブレットPC等、電子メディアの過剰使用により、生活リズムとともに、家庭学習や睡眠の時間が十分に確保されていないことが問題となっています。(体育大会でご来校いただいた保護者の方々とのお話からも、同様の「声」を聞きました。) プラス・マイナス15分の取組を、全員で、生活リズムを整えることから始めましょう。早速、今日から始めましょう。

学校での学びに、家庭での学びが加わると、より学力が定着します。ただ、家庭での様子はうかがい知ることができませんので、この紙面で訴えていきます。

【「長坂」第19号(09/24 発行)掲載】

あれから、約1ヶ月が経過しました。ご家庭での取組状況はいかがですか。今回は、第2弾として、家庭学習の取組について、再度、触れます。

家庭学習について「お子様の状況は？」と尋ねると、「中学生になると、いちいち監視するようなことはしません」と言われそうです。そのとおりですが、要所要所での確認は必要だと思います。ご家庭では、家庭での時間の使い方について話し合い、約束を決めましょう。できれば早い時期から中学卒業後の進路について話し合い、目標を共有しましょう。3年生は受験勉強真っ只中だと思います。対象のご家庭では、目標の実現に向けて努力している姿をしっかりと見守りましょう。

あと、家庭学習については、宿題、自主学習の順に取り組むことが鉄則です。自主学習に関しては授業の復習や予習から始めるとスムーズに勉強モードに突入できます。時間的に余裕があれば、興味・関心のあるテーマで学習することが、学力をさらに伸ばさせます。勉強モードにスイッチを入れるには、授業と同じように、始めに「めあて」を、終わりに「まとめ」を、それぞれ1行ずつ書くと、取り組んだ成果と実感が湧くと考えますが…。ともあれ、試行錯誤することにより、自分にあった勉強スタイルが見つかるはずです。

学校では、家庭学習ノート等の提出を、曜日ごとに教科を指定して、教科担任の先生が点検を行っています。この進捗状況も、お子様に尋ねてみてはいかがでしょうか。



←写真は日常の授業風景です。

研究授業に際して撮影したもので、先生たちも日々授業改革に取り組んでいます。何より、前述したとおり、生徒一人一人が意欲的な学びにあふれた授業が展開されていました。

情報モラルに関して気になる記事を目にしました。

(社) 社団法人日本情報モラル推進機構竹村順吾理事長の記事で「ネットは大人も子どもも平等」というタイトルでした。スペースの関係で全文は掲載できませんが、様々なインターネット利用の弊害を記述した後に、以下のことが書かれていました。

…(中略)…きちんと使いこなせば、そこにはたくさんのチャンスや、人生を幸せにしてくれるヒントがあります。実際に、学生社長やミュージシャン、イラストレーターなど、ネットでチャンスをつかんでデビューした若者はたくさんいます。ですが、誰でもチャンスをつかめるということは、つまり、ネットの世界が「大人も子どもも平等」であることを意味しています。顔が見えないからこそ、誰であっても平等に評価されるのです。

ただし、これは「誰でも平等に責任を負う」ことの裏返しです。子どもであっても、許されないことをすれば責められます。誰かを傷つける行為は必ず自分に返ってきます。そのことを忘れないでほしいと思います。

そのとおりだと思います。昨今の安易なスマホ発信に、警鐘を鳴らすものと受け止めました。